

表2 鉛水用防錆剤使用建築物に関する調査(行政)必要抽出事項一覧

整理番号	地域名	鉛水用防錆剤使用の届け出時 に必要なもの*
1	北海道	1,2,4,6
2	青森県	1,2,4,6
3	岩手県	
4	宮城県	
5	秋田県	
6	山形県	1,2,4,6
7	福島県	1,2,3,4,5,6,9
8	茨城県	1,2,3,4,5,6
9	栃木県	1,2,3,4,5,6
10	群馬県	
11	埼玉県	1,2,3,4,5,6,7
12	千葉県	1,2,3,4,5,6,7
13	東京都	1,2,3,4,5,6
14	神奈川県	1,2,3,4,5,6
15	新潟県	1,2,3,4,5,6,7,9
16	富山県	1,2,4,6
17	石川県	
18	福井県	
19	山梨県	
20	長野県	1,2,4,6
21	岐阜県	1,2,4,5,6,7
22	静岡県	1,2,4,6
23	愛知県	1,2,3,4,5,6,7
24	三重県	
25	滋賀県	1,2,3,4,5,6
26	京都府	1,2,3,4,5,6
27	大阪府	1,2,3,4,5,6
28	兵庫県	1,2,3,4,5,6,9
29	奈良県	2,4,5,6,7,8
30	和歌山県	
31	鳥取県	1,2,3,4,5,6
32	島根県	1,2
33	岡山県	1,2,4,6
34	広島県	1,2,3,4,5,6,7,9
35	山口県	1,2,4,5,6
36	徳島県	
37	香川県	
38	愛媛県	
39	高知県	
40	福岡県	1,2,3,4,5,6
41	佐賀県	
42	長崎県	
43	熊本県	
44	大分県	1,2,3,4,6
45	宮崎県	1,2,3,4,5,6
46	鹿児島県	
47	沖縄県	

整理番号	地域名	鉛水用防錆剤使用の届け出時 に必要なもの*
48	札幌市	1,2,3,4,5,6
49	仙台市	
50	千葉市	1,2,3,4,5,6,7
51	横浜市	1,2,3,4,5,6
52	川崎市	1,2,3,4,5,6
53	名古屋市	1,2,3,4,6,7
54	京都市	1,2,3,4,5,6,7,9
55	大阪市	1,2,3,4,5,6,7,8
56	神戸市	
57	広島市	1,2,3,4,6,7
58	北九州市	1,2,3,4,6,7
59	福岡市	1,2,4,5,6
60	千代田区	1,2,3,4,5,6
61	中央区	1,2,3,4,6
62	港区	1,2,3,4,5,6,9
63	新宿区	1,2,3,4,5,6
64	文京区	1,2,3,4,5,6
65	台東区	1,2,3,4,5,6
66	墨田区	1,2,3,4,5,6
67	江東区	1,2,3,4,5,6
68	品川区	1,2,3,4,6
69	目黒区	1,2,3,4,5,6
70	大田区	1,2,3,4,6
71	世田谷区	1,2,3,4,5,6
72	渋谷区	1,2,3,4,5,6
73	中野区	1,2,3,4,6
74	杉並区	1,2,3,4,5,6
75	豊島区	1,2,3,4,5,6
76	北区	1,2,3,4,5,6
77	荒川区	1,2,4,5,6
78	板橋区	1,2,3,4,6
79	練馬区	1,2,3,4,5,6
80	足立区	1,2,3,4,5,6
81	葛飾区	1,2,3,4,5,6
82	江戸川区	1,2,3,4,5,6

整理番号	地域名	鉛水用防錆剤使用の届け出時 に必要なもの*
83	小樽市	3
84	函館市	1,2,3,4,5,6
85	旭川市	1,2,3,4,6
86	秋田市	2
87	郡山市	1,2,4,5,6,9
88	いわき市	
89	宇都宮市	1,2,3,4,5,6
90	さいたま市	1,2,3,4,5,6
91	川越市	1,2,3,4,5,9
92	船橋市	1,2,3,4,5,6,7
93	横須賀市	1,2,6,7,8
94	相模原市	1,2,3,4,5,6
95	新潟市	1,2,3,4,5,6,7,9
96	富山市	1,2,3,4,6
97	金沢市	1,2,6
98	長野市	
99	岐阜市	1,2,4,5,6,7
100	静岡市	1,4,6
101	浜松市	
102	豊田市	
103	豊橋市	1,2,4,5,6
104	岡崎市	1,2,3,4,5,6,7
105	堺市	1,2,3,4,5,6
106	東大阪市	2
107	高槻市	1,2,3,4,5,6
108	西宮市	
109	尼崎市	
110	姫路市	1,2,3,4,5,6
111	奈良市	
112	和歌山市	1,2,4,6,7
113	岡山市	1,2,3,4,6
114	倉敷市	1,2,3,4,6
115	呉市	1,2,4,6
116	福山市	1,2,3,4,5,6,7,9
117	下関市	1,2,4,6
118	高松市	
119	松山市	1,2,3,4,5,6
120	高知市	
121	大牟田市	1,2,3,4,5,6
122	長崎市	1,2,3,4,5,6,7,9
123	佐世保市	1,2,4,6
124	熊本市	
125	大分市	1,2,4,6
126	宮崎市	1,2,3,4,5,6
127	鹿児島市	

※記号について 1:防錆剤使用開始年月日, 2:当該建築物の名称及び所在地, 3:防錆剤管理責任者の選定, 4:管理責任者の氏名及び住所, 5:管理責任者が所有する資格, 6:使用する防錆剤の種類, 7:防錆剤の注入方法, 8:防錆剤濃度管理(注入時の濃度), 9:その他

表3 防錆剤使用の届出件数

階級	件数
0件	66
1～10件	38
11～20件	6
21～40件	2
41件以上	1

図1 防錆剤使用の届出件数

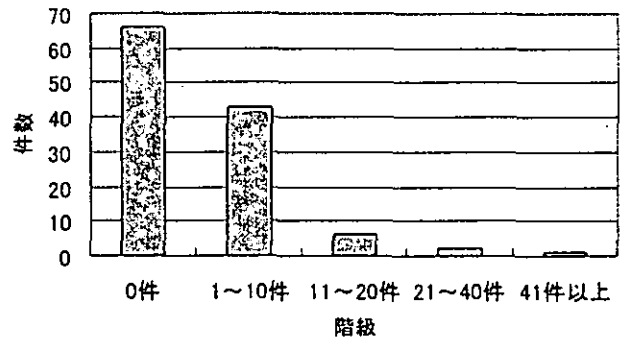


表4 防錆剤使用届出時に必要な事項

必要事項	回答数	(%)
i 防錆剤使用開始年月日	92	95.8
ii 当該建築物の名称及び所在地	94	97.9
iii 防錆剤管理責任者の選任	71	74.0
iv 管理責任者の氏名及び住所	90	93.8
v 管理責任者が所有する資格	69	71.9
vi 使用する防錆剤の種類	91	94.8
vii 防錆剤の注入方法	21	21.9
viii 防錆剤管理濃度	3	3.1
ix その他	11	11.5

表5 届出時に必要なその他の事項

行政名	その他の必要事項
福島県	防錆剤の水質試験成績書
新潟県	防錆剤注入装置の型式及び性能
兵庫県	防錆剤管理責任者の所属及び所在地
広島県	防錆剤の使用量(Kg/月)、注入設備の設置場所、建築年次
京都市	特定建築物の用途、防錆剤の仕様書
港区	防錆剤管理責任者の選任(変更)年月日
郡山市	防錆剤の水質試験成績書
川越市	防錆剤仕様書、防錆剤注入装置等仕様書及び系統図、 防錆剤管理責任者の資格を証する書類の写し
新潟市	主たる用途、延べ床面積、階数、棟数、水槽の有効容量・ 設置場所・材質・数、注入装置等のメーカー名、管理者の所属
福山市	防錆剤の使用量、保管場所、注入設備の設置場所、給水使用量、 配管等給水設備の恒久対策の計画
長崎市	防錆剤を使用する理由

付録-2 を用いて実施した防錆剤使用施設の届出内容に関する調査では、40 の行政より合計 225 施設に関するデータの提供を受けたので、一覧にまとめ、併せて集計を実施した(表 6, 図 2～)。

表6 給水用防錆剤に関する使用実態(1)

番号	地域	建築物について			給水方式			防錆剤の使用開始		防錆剤管理責任者		使用防錆剤		防錆剤の注入方法		給湯水	
		建築年	延床面積 (㎡)	在籍者 (人)	特定用途の種類*	給水方式	防錆剤の使用開始	責任の有無	所有資格	種類	濃度 (mg/L)	種類	濃度 (mg/L)	注入方法	防錆剤の注入方法	防錆剤の注入方法	使用状況
2	1	1981年9月	4,562.0	-	9	高置水塔方式	1988年11月	している	-	1種1号	-	1種1号	-	注入方式	-	2	-
2	2	1977年8月	3,688.0	-	11	-	1989年4月	している	-	1種1号	-	1種1号	-	-	-	2	-
2	3	1971年9月	7,246.0	-	9	高置水塔方式	1991年10月	している	ビル管理技術者	1種1号	3.0	あり	ポンプ注入法	ポンプ注入法	1	1種2号	ポンプ注入法
7	1	1960年11月	4,507.0	195	11	高置水塔方式	1983年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	4.0	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	2	-	-
7	2	1966年4月	3,300.0	458	11	高置水塔方式	1987年5月	している	ビル管理技術者	2種2号	3.0	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	2	-	-
7	3	1973年11月	1,157.0	1,157	11	水道結方式	1988年1月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	2	-	-
12	1	1961年8月	4,486.0	358	8,9	圧力水塔方式	1989年9月	している	ビル管理技術者	1種1号	5.0	あり	ダイヤベンサ方式	ダイヤベンサ方式	1	1種1号	ダイヤベンサ方式
12	2	1964年10月	8,932.0	450	11	高置水塔方式	-	している	高圧電気技師	1種1号	0.1	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	1	1種1号	ハイパス溶解法
12	3	1978年4月	8,801.0	182	11	高置水塔方式	1989年9月	している	ビル管理技術者	2種2号	1.0	あり	給水員に依り注入する方式	給水員に依り注入する方式	2	-	-
13	1	1962年11月	43,265.0	-	2	高置水塔方式	1971年8月	している	ビル管理技術者	3種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	2	1966年1月	12,268.0	-	1	高置水塔方式	1982年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	3	1971年12月	14,852.0	-	8	高置水塔方式	1972年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	4	1972年5月	2,383,334.0	-	7	高置水塔方式	1975年5月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	5	1984年9月	115,325.0	-	1,11	高置水塔方式	1985年1月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	6	1971年6月	12,825.0	-	1	高置水塔方式	1981年2月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	7	1974年3月	20,688.0	-	1,8	高置水塔方式	1999年11月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	8	1978年4月	191,425.0	-	1,8	高置水塔方式	1990年12月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	9	1962年	10,080.4	-	8,9	高置水塔方式	1985年10月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	10	1963年10月	27,778.0	-	9	高置水塔方式	1978年1月	している	ビル管理技術者	2種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	11	1962年7月	12,479.0	-	8,9	高置水塔方式	1978年3月	している	ビル管理技術者	2種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	12	1983年7月	25,424.8	-	11	高置水塔方式	1994年1月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	13	1962年4月	11,026.0	-	9	高置水塔方式	1979年12月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	14	1972年12月	13,861.0	-	7,8	高置水塔方式	1984年6月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	15	1964年8月	10,354.0	-	7	高置水塔方式	1972年5月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	16	1972年8月	20,758.0	-	3	高置水塔方式	1979年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	17	1972年	40,405.0	-	11	高置水塔方式	1979年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	18	1971年1月	52,576.0	-	11	高置水塔方式	1971年2月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	19	1971年1月	57,376.0	-	11	高置水塔方式	1970年5月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	20	1971年5月	16,236.0	-	9	高置水塔方式	1987年2月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	21	1963年3月	16,305.0	-	9	高置水塔方式	1976年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	22	1964年10月	31,834.0	-	8,9	高置水塔方式	1978年11月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	23	1972年2月	48,724.0	-	3,8,11	高置水塔方式	1986年	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	24	1960年9月	66,599.0	-	8,9,11	高置水塔方式	1983年	している	防錆剤管理責任者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	25	1965年6月	14,864.0	-	8,9	高置水塔方式	2002年9月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	26	1963年4月	43,586.0	-	3,8,11	高置水塔方式	1990年12月	している	防錆剤管理責任者	1種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	27	1984年7月	5,140.0	-	11	高置水塔方式	2000年7月	している	ビル管理技術者	1種	-	あり	-	-	-	-	-
13	28	1980年5月	5,219.0	-	9	加圧給水方式	1994年5月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	あり	-	-	-	-	-
13	29	1978年12月	5,986.0	-	11	高置水塔方式	1988年9月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-
13	30	1984年8月	5,735.0	-	1	加圧給水方式	1988年8月	している	給水用防錆剤販売管理者	1種1号	-	あり	-	ハイパス溶解法	-	-	-
15	1	1988年9月	12,419.0	-	9	-	1988年9月	している	給水用防錆剤販売管理者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
15	2	1985年3月	8,403.0	-	11	-	1992年3月	している	ビル管理技術者	1種	-	-	-	一定量ポンプ注入方式	-	-	-
16	1	1970年5月	13,482.0	-	11	高置水塔方式	1987年3月	している	ビル管理技術者	1種1号	5.0	あり	ポンプ注入法	ポンプ注入法	2	-	-
16	2	1977年4月	9,743.0	-	11	高置水塔方式	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1種1号	-
23	1	1976年6月	5,234.0	-	8,9	高置水塔方式	1984年5月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.5	あり	ポンプ注入法	ポンプ注入法	2	-	-
23	2	1973年10月	5,113.0	-	9	高置水塔方式	1990年1月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.3	あり	流量比制御方式	流量比制御方式	2	-	-
23	3	1979年5月	6,926.0	-	9	高置水塔方式	1990年1月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.3	あり	流量比制御方式	流量比制御方式	2	-	-
23	4	1976年7月	3,619.0	-	9	高置水塔方式	1983年8月	している	ビル管理技術者	1種2号	2.4	あり	ポンプ注入法	ポンプ注入法	2	-	-
23	5	1974年9月	8,491.0	-	10	高置水塔方式	1989年10月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.6	あり	ポンプ注入法	ポンプ注入法	2	-	-

\*特定用途 1: 興行場, 2: 百貨店, 3: 集会所, 4: 図書館, 5: 博物館, 6: 美術館, 7: 遊技場, 8: 店舗, 9: 事務所, 10: 学校(含研修所), 11: 旅館

表6 給水用防錆剤に関する使用実態(2)

地域	番号	建築物について			給水方式			防錆剤の使用開始			防錆剤管理責任者			使用防錆剤			防錆剤の注入方法			防錆剤の注入方法		
		建設年	延床面積 (m <sup>2</sup> )	在籍者 (人)	特定用途の種類	給水方式	防錆剤の使用開始	責任の有無	所有資格	種類	濃度 (mg/L)	種類	種類	種類	濃度 (mg/L)	種類	種類	種類	濃度 (mg/L)	種類	種類	種類
23	6	1974年9月	9,496.0	-	10	高置水櫃方式	1989年10月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.6	あり	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式
23	7	1975年3月	14,702.0	-	10	高置水櫃方式	1989年10月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.6	あり	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式
23	8	1980年2月	9,742.0	-	10	高置水櫃方式	1989年10月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.6	あり	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式
23	9	1990年10月	8,750.0	-	10	高置水櫃方式	1989年10月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.6	あり	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式
23	10	1974年9月	17,474.0	-	10	高置水櫃方式	1989年10月	している	ビル管理技術者	1種2号	0.6	あり	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式	連続注入方式
26	1	-	3,173.0	-	9,11	高置水櫃方式	1997年7月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	1	1978年12月	23,339.0	-	9	高置水櫃方式	1984年8月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	1	1977年6月	4,763.0	-	11	高置水櫃方式	1982年8月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	2	1975年9月	26,932.0	-	8	-	1987年4月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	3	1971年8月	13,112.0	-	2	-	1989年7月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	4	1977年11月	7,696.0	-	2	-	1988年8月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	5	1976年3月	10,907.0	-	11	-	1995年8月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	6	1975年7月	5,510.0	-	9	-	1992年2月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	1	1973年11月	7,209.5	-	9	高置水櫃方式	1984年7月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	2	-	3,121.0	-	8,11	高置水櫃方式	1976年11月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	3	1968年11月	5,829.6	-	11	高置水櫃方式	1968年11月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	4	1974年2月	3,270.0	-	11	-	1974年2月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	5	1979年11月	6,428.0	-	9	高置水櫃方式	1979年11月	している	ビル管理技術者	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	6	1990年6月	11,222.4	-	11	高置水櫃方式	1990年6月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	7	1986年4月	4,040.0	-	9	高置水櫃方式	1986年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	8	1994年11月	8,399.2	-	10	-	1994年11月	している	ビル管理技術者	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	1	1972年12月	4,836.0	-	11	高置水櫃方式	1983年6月	している	ビル管理技術者	1種2号	5.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	2	1962年11月	8,454.0	-	9	高置水櫃方式	1967年1月	している	ビル管理技術者	1種1号	5.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	3	1964年8月	11,405.0	-	9	高置水櫃方式	1979年10月	している	ビル管理技術者	1種2号	5.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	4	1978年5月	12,263.0	-	11	高置水櫃方式	1982年10月	している	ビル管理技術者	1種1号	2.5	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法
48	5	1990年5月	14,587.0	-	8	高置水櫃方式	1990年10月	している	ビル管理技術者	1種1号	2.0	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法
48	6	1969年5月	5,677.0	-	9	高置水櫃方式	1982年5月	している	ビル管理技術者	1種1号	2.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	7	1972年9月	5,658.0	-	8	高置水櫃方式	1978年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	5.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	8	1975年1月	9,139.0	-	8,9	高置水櫃方式	1969年4月	している	ビル管理技術者	1種2号	4.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	9	1974年2月	7,469.0	-	11	高置水櫃方式	1992年8月	している	ビル管理技術者	1種1号	0.5	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	10	1970年11月	21,177.0	-	9	圧力水櫃方式	1988年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	0.2	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	11	1973年11月	8,939.0	-	11	高置水櫃方式	1985年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	5.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	12	1975年3月	4,832.0	-	8	高置水櫃方式	1985年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	2.5	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	13	1974年2月	3,784.0	-	9	高置水櫃方式	1993年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	1.5	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
48	14	1971年10月	13,448.0	-	8	高置水櫃方式	1977年6月	している	ビル管理技術者	1種1号	4.0	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
50	1	-	3,606.0	-	8	高置水櫃方式	1975年4月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	あり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50	2	-	3,628.0	-	8,9	高置水櫃方式	1999年7月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51	1	1975年4月	8,912.0	-	9	高置水櫃方式	-	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51	2	1974年10月	9,339.0	-	8,9	高置水櫃方式	1974年10月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51	3	1983年2月	7,430.0	-	9	高置水櫃方式	1999年7月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	1	1972年11月	8,498.0	-	9	高置水櫃方式	2000年4月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	なし	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
53	2	1973年1月	19,085.0	-	8,9	高置水櫃方式	1973年7月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法
53	3	1973年7月	21,140.0	-	9	高置水櫃方式	1973年7月	している	ビル管理技術者	2種1号	-	あり	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法	ハイパス溶解法
53	4	1984年7月	3,596.0	-	11	高置水櫃方式	-	している	ビル管理技術者	1種2号	-	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	5	1969年10月	34,828.0	-	11	高置水櫃方式	-	している	ビル管理技術者	1種2号	-	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	6	1980年10月	7,365.0	-	10	高置水櫃方式	1994年6月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
53	7	1948年4月	21,781.0	-	11	高置水櫃方式	1992年	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
53	8	1973年3月	7,336.0	-	9	高置水櫃方式	1984年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	あり	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式	流量比例方式
53	9	1963年12月	28,080.0	-	8,9	高置水櫃方式	1984年12月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式
53	10	1964年4月	53,006.0	-	8,9,11	高置水櫃方式	1984年12月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式	ポンプ注入方式

※特定用途 1:興行場, 2:百貨店, 3:集会所, 4:図書館, 5:博物館, 6:美術館, 7:遊技場, 8:店舗, 9:事務所, 10:学校(含研修所), 11:旅館

表6 給水用防錆剤に関する使用実態(3)

建築物について			給水方式			防錆剤の使用開始			防錆剤管理責任者			使用防錆剤			結湯水				
番号	建設年	延床面積 (m <sup>2</sup> )	在館者 (人)	特定用途の種類*	給水方式	防錆剤の使用開始	選任の有無	所有資格	種類	濃度 (mg/L)	検査頻度 (回/年)	使用状況	種類	濃度 (mg/L)	防錆剤の注入方法	実施状況	防錆剤の注入方法	濃度 (mg/L)	注入方法
53	1965年4月	19,427.0	-	8.9	高置水槽方式	1985年4月	-	-	1棟2号	-	12	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
53	1972年10月	28,245.0	-	1	高置水槽方式	-	-	-	1棟	-	6	-	-	-	-	実施	-	-	-
54	1982年4月	8,099.0	-	10	高置水槽方式	1994年10月	している	ビル管理技術者	1棟2号	0.1	1	-	-	-	-	実施	-	-	-
54	1987年10月	8,988.0	-	10	高置水槽方式	1994年10月	している	ビル管理技術者	1棟2号	0.1	1	-	-	-	-	実施	-	-	-
54	1997年4月	15,160.0	-	10	圧力水槽方式	2000年6月	している	ビル管理技術者	1棟2号	3.3	1	-	-	-	-	実施	-	-	-
54	1999年3月	10,069.0	-	10	高置水槽方式	1999年3月	している	ビル管理技術者	1棟2号	0.1	1	-	-	-	-	実施	-	-	-
54	1976年7月	-	-	9	高置水槽方式	1988年12月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1980年4月	-	-	11	高置水槽方式	1989年12月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1972年1月	-	-	9	高置水槽方式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1986年3月	10,027.0	-	10	高置水槽方式	2002年3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1976年1月	-	-	11	高置水槽方式	1985年2月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1979年1月	-	-	11	高置水槽方式	1985年2月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1973年4月	-	-	3	高置水槽方式	1987年3月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1986年12月	-	-	3	圧力水槽方式	1987年4月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	1977年11月	4,574.0	-	8	高置水槽方式	1982年6月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	1976年9月	4,290.0	-	8	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	1975年4月	31,042.0	-	9	高置水槽方式	1981年	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	1971年1月	14,044.0	-	11	高置水槽方式	1992年7月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	1972年11月	22,423.0	-	11	高置水槽方式	1985年1月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	1974年2月	5,374.0	-	11	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟	-	-	-	-	-	-	未実施	-	-	-
54	1978年3月	5,080.0	-	11	高置水槽方式	1984年11月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	未実施	-	-	-
54	1976年12月	3,149.0	-	11	高置水槽方式	1985年8月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	未実施	-	-	-
54	1981年9月	4,184.0	-	11	高置水槽方式	1983年4月	している	ビル管理技術者	2棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	23 1983年1月	13,152.0	-	10	高置水槽方式	1989年2月	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	24	-	-	10	高置水槽方式	1985年2月	-	-	1棟号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	-	-	-	-
54	25 1976年7月	-	-	8	高置水槽方式	1983年4月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	26 1976年8月	-	-	9	高置水槽方式	1985年4月	している	ビル管理技術者	1棟号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	27 1976年12月	-	-	9	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	-	-	-	-	-	-	-	未実施	-	-	-
54	28 1972年11月	-	-	11	高置水槽方式	1985年9月	している	ビル管理技術者	1棟号	-	-	-	-	-	-	未実施	-	-	-
54	29 1978年12月	-	-	11	高置水槽方式	1985年9月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	未実施	-	-	-
54	30 1982年5月	-	-	11	高置水槽方式	1986年3月	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	-	未実施	-	-	-
54	31 1973年4月	11,620.0	-	9	高置水槽方式	1985年3月	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	-	未実施	-	-	-
57	1970年3月	3,049.0	-	9	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
57	2 1966年11月	7,111.0	-	8.11	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	3 1971年4月	3,382.0	-	8.9	高置水槽方式	1985年11月	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	4 1968年11月	3,687.0	-	7.8.9	高置水槽方式	1985年11月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	5 1971年11月	7,081.0	-	8	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	6 1973年1月	9,093.0	-	7.8	高置水槽方式	1988年12月	している	ビル管理技術者	2棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	7 1972年3月	20,086.0	-	9	高置水槽方式	1989年12月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	8 1972年3月	7,642.0	-	9	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	-	-	-	-
57	9 1986年8月	3,731.0	-	11	高置水槽方式	1989年12月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	-	-	-	-
57	10 1981年4月	3,945.0	-	8.9	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	11 1973年10月	6,875.0	-	8.11	高置水槽方式	1989年12月	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
57	12 1978年3月	3,942.0	-	11	高置水槽方式	-	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
60	1970年6月	3,601.0	-	8.9	高置水槽方式	1989年1月	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	ポンプ注入法	実施	-	-	-
60	2 1969年12月	3,736.0	-	7.8	高置水槽方式	1988年9月	している	ビル管理技術者	1棟2号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60	3 1971年7月	6,687.0	-	9	高置水槽方式	1980年1月	している	ビル管理技術者	2棟1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60	4 1980年6月	5,617.0	-	9	高置水槽方式	1987年5月	している	ビル管理技術者	1棟1号	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*特定用途: 1.興行場, 2.百貨店, 3.集会所, 4.図書館, 5.博物館, 6.美術館, 7.遊技場, 8.店舗, 9.事務所, 10.学校(含研修所), 11.旅館

表6 給水用防錆剤に関する使用実態(4)

建物について		給水方式		防錆剤の使用開始		防錆剤管理責任者		使用防錆剤		防錆剤の注入方法		防錆剤濃度検査		給湯水			
番号	地域施設	建築年	延床面積(m <sup>2</sup> )	在籍者(人)	特定用途の種類*	給水方式	防錆剤の使用開始	退任の有無	所有資格	種類	濃度(mg/L)	種類	濃度(mg/L)	使用状況	使用防錆剤の種類	濃度(mg/L)	防錆剤の注入方法
62	1	1960年7月	8,450.3	-	11	高圧水噴方式	1986年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	2	-	-	-
62	2	1979年4月	7,901.4	-	9	高圧水噴方式	1993年5月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	2	-	-	-
62	3	1978年4月	4,936.3	-	11	高圧水噴方式	1989年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	2	-	-	-
62	4	1968年10月	3,672.2	-	11	高圧水噴方式	1988年3月	している	ビル管理技術者	2種2号	-	-	-	2	-	-	-
62	5	1971年6月	5,953.5	-	8,9	高圧水噴方式	1997年11月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	2	-	-	-
62	6	1974年	6,583.9	-	9	高圧水噴方式	1994年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	2	-	-	-
62	7	1974年7月	3,875.0	-	9	高圧水噴方式	1988年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	2	-	-	-
62	8	1965年1月	4,839.0	-	9	高圧水噴方式	1992年3月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	2	-	-	-
62	9	1966年6月	7,015.0	-	9	高圧水噴方式	1982年8月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	2	-	-	-
62	10	1964年3月	5,067.0	-	8,9	高圧水噴方式	1985年6月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	2	-	-	-
62	11	1973年9月	3,467.3	-	9	高圧水噴方式	1988年9月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	2	-	-	-
63	1	1975年8月	-	-	8	高圧水噴方式	1999年12月	している	ビル管理技術者	1種2号	1.5	あり	ハイパス溶解法	2	-	-	-
64	1	1971年9月	3,746.5	-	10	高圧水噴方式	1998年2月	している	-	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
68	1	1968年12月	3,717.6	-	9	高圧水噴方式	1991年12月	している	-	2種	-	-	-	2	-	-	-
68	2	1964年12月	7,048.3	-	7	高圧水噴方式	1998年1月	している	-	1種1号	-	-	-	2	-	-	-
70	1	1972年5月	3,855.9	-	9	高圧水噴方式	1991年4月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
70	2	1964年7月	4,207.4	-	11	高圧水噴方式	-	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
70	3	1973年7月	4,271.8	-	9	高圧水噴方式	1986年8月	している	-	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
70	4	1960年2月	8,268.3	-	9	高圧水噴方式	1983年8月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
72	1	1972年4月	12,625.0	-	9	高圧水噴方式	1981年2月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
72	2	1964年1月	3,286.0	-	9	高圧水噴方式	1986年8月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
72	3	1971年2月	5,375.0	-	9	高圧水噴方式	1990年1月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
72	4	1974年3月	20,688.0	-	8,9	高圧水噴方式	1999年12月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
72	5	1971年7月	6,270.0	-	9	高圧水噴方式	1992年4月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
72	6	1972年7月	5,809.0	-	9	高圧水噴方式	1986年3月	している	ビル管理技術者	2種2号	-	-	-	-	-	-	-
75	1	1979年10月	3,975.0	-	8,9	高圧水噴方式	2001年3月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
75	2	1957年9月	5,177.0	-	9	高圧水噴方式	1996年7月	している	ビル管理技術者	2種2号	-	-	-	-	-	-	-
75	3	-	7,721.0	-	9	高圧水噴方式	2001年6月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
77	1	1974年5月	5,331.0	-	8,9	高圧水噴方式	1982年9月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
79	1	1974年10月	5,880.0	-	8,9	高圧水噴方式	1977年8月	している	ビル管理技術者	1種1号	50	あり	ハイパス溶解法	2	-	-	-
83	1	1976年7月	3,150.0	-	11	高圧水噴方式	1994年	している	ビル管理技術者	1種2号	28	あり	ポンプ注入法	1	-	-	ハイパス溶解法
83	2	1980年4月	12,447.0	-	8,11	高圧水噴方式	1988年8月	している	ビル管理技術者	1種2号	50	あり	ポンプ注入法	2	-	-	-
86	2	1970年7月	3,149.0	-	11	高圧水噴方式	1995年7月	している	-	1種2号	50	あり	ハイパス溶解法	2	-	-	-
86	3	1965年12月	3,943.0	-	11	高圧水噴方式	1965年12月	している	ビル管理技術者	1種2号	50	なし	ポンプ注入法	2	-	-	-
86	4	1972年5月	29,500.0	-	1	高圧水噴方式	1999年2月	している	防錆剤管理責任者	1種1号	20	あり	ハイパス溶解法	2	-	-	-
95	1	1963年1月	3,882.0	-	9	高圧水噴方式	1984年7月	している	防錆剤管理責任者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
95	2	1976年4月	3,644.0	-	9	高圧水噴方式	1979年10月	している	防錆剤管理責任者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
95	3	1972年4月	3,424.0	-	9	高圧水噴方式	1986年1月	している	防錆剤管理責任者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
95	4	1966年1月	6,286.0	-	9	高圧水噴方式	1989年9月	している	防錆剤管理責任者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
95	5	1980年1月	8,239.0	-	3	高圧水噴方式	1989年3月	している	防錆剤管理責任者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
95	6	1975年7月	27,785.0	-	8	高圧水噴方式	1981年6月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
95	7	1982年12月	14,243.0	-	10	ポンプ噴送方式	1982年12月	している	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-	-
96	1	1973年11月	5,981.2	-	3,9	高圧水噴方式	1997年10月	している	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-	-
96	2	1974年3月	4,375.6	-	9	高圧水噴方式	-	している	ビル管理技術者	-	-	-	-	-	-	-	-
97	1	-	-	-	-	-	-	している	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	2	-	-	-	-	-	-	している	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	3	-	-	-	-	-	-	している	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	4	-	-	-	-	-	-	している	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	5	-	-	-	-	-	-	している	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*特定用途: 1.銀行, 2.百貨店, 3.集会所, 4.図書館, 5.博物館, 6.美術館, 7.遊技場, 8.店舗, 9.事務所, 10.学校(含専修校), 11.旅館

表6 給水用防錆剤に関する使用実態(5)

建築物について				屋上タンクについて				給湯水						
番号	建設年	延床面積 (m <sup>2</sup> )	在籍者 (人)	特定用途の種類*	給水方式	防錆剤の使用開始	防錆剤の管理責任者	使用防錆剤の種類	防錆剤の濃度 (mg/L)	防錆剤の注入方法	防錆剤の実施状況	使用防錆剤の種類	防錆剤の濃度 (mg/L)	防錆剤の注入方法
97 6	-	-	-	-	-	-	防錆剤の管理責任者 所有資格	1種2号	-	-	-	-	-	-
97 7	-	-	-	-	-	-	防錆剤の管理責任者 所有資格	1種2号	-	-	-	-	-	-
97 8	-	-	-	-	-	-	防錆剤の管理責任者 所有資格	1種2号	-	-	-	-	-	-
100 1	1973年11月	7,082.6	-	7	高圧水槽方式	1979年11月	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-
100 2	1961年12月	3,667.0	-	1	高圧水槽方式	1985年11月	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-
100 3	1966年5月	28,690.8	-	2,9	高圧水槽方式	1980年8月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
100 4	1973年11月	15,039.9	-	11	高圧水槽方式	1981年5月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
105 1	-	5,824.9	-	8,9	高圧水槽方式	1989年3月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
105 2	-	17,405.2	-	9	高圧水槽方式	1977年7月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
105 3	-	9,869.8	-	8,9	高圧水槽方式	1982年7月	ビル管理技術者	3種2号	-	-	-	-	-	-
105 4	-	70,799.0	-	28,9	高圧水槽方式	1984年10月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
105 5	-	3,421.6	-	8,9	高圧水槽方式	1985年10月	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-
110 1	1970年12月	8,923.0	-	9	高圧水槽方式	1992年4月	ビル管理技術者	1種2号	5.0	ポンプ注入法	実施	1種2号	5.0	ポンプ注入法
110 2	1986年11月	7,785.0	-	9	高圧水槽方式	1999年6月	ビル管理技術者	1種1号	5.0	ハイパス溶解法	実施	1種1号	5.0	ハイパス溶解法
113 1	-	15,751.0	-	11	高圧水槽方式	-	ビル管理技術者	-	-	-	-	-	-	-
113 2	-	3,378.0	-	9	高圧水槽方式	1989年9月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
113 3	-	13,547.0	-	11	高圧水槽方式	1986年3月	ビル管理技術者	2種2号	-	-	-	-	-	-
113 4	-	4,995.0	-	9	高圧水槽方式	1985年9月	ビル管理技術者	2種2号	-	-	-	-	-	-
122 1	-	10,739.0	-	11	高圧水槽方式	1991年5月	ビル管理技術者	1種2号	-	-	-	-	-	-
122 2	-	5,012.6	-	11	高圧水槽方式	1985年3月	未資格	1種1号	-	ポンプ注入法	実施	1種1号	-	-
122 3	-	7,073.7	-	11	高圧水槽方式	1988年2月	ビル管理技術者	1種2号	-	ポンプ注入法	実施	1種2号	-	-
122 4	-	15,770.9	-	11	高圧水槽方式	2002年2月	ビル管理技術者	1種2号	-	ポンプ注入法	実施	1種2号	-	ポンプ注入法
122 5	-	10,924.2	-	9	高圧水槽方式	-	ビル管理技術者	1種1号	-	ハイパス溶解法	実施	-	-	-
122 6	-	3,842.5	-	9	高圧水槽方式	1988年2月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
122 7	-	3,812.1	-	9	高圧水槽方式	1988年2月	ビル管理技術者	1種1号	-	-	-	-	-	-
122 8	-	5,278.4	-	9	高圧水槽方式	1988年11月	ビル管理技術者	1種2号	-	ポンプ注入法	実施	1種2号	-	-
125 1	1981年11月	3,656.0	-	8,9	高圧水槽方式	1997年5月	ビル管理技術者	1種2号	-	ポンプ注入法	実施	1種2号	-	-
126 1	1972年2月	19,000.0	-	11	高圧水槽方式	2002年6月	ビル管理技術者	1種1号	5.0	-	-	1種1号	5.0	-

\*特定用途 1:興行場, 2:百貨店, 3:果会場, 4:図書館, 5:博物館, 6:美術館, 7:遊技場, 8:店舗, 9:事務所, 10:学校(含研修所), 11:旅館

## 1) 建築物について

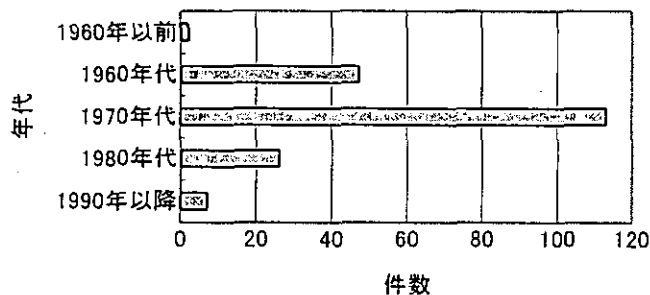
### ①建築年

建築年については1970年代が117件(60.0%)と最も多く、次いで1960年代が43件(22.1%)、1980年代が26件(13.3%)、1990年代以降が7件(3.6%)、1960年以前が2件(1.0%)であり、最も古い建築物で1948年、最も新しい建築物で1999年であった(表7、図2)。(不明:30件)

表7 建築年について

年代	件数	(%)
1960年以前	2	1.0
1960年代	47	22.1
1970年代	113	60.0
1980年代	26	13.3
1990年以降	7	3.6
不明	30	

図2 建築年について



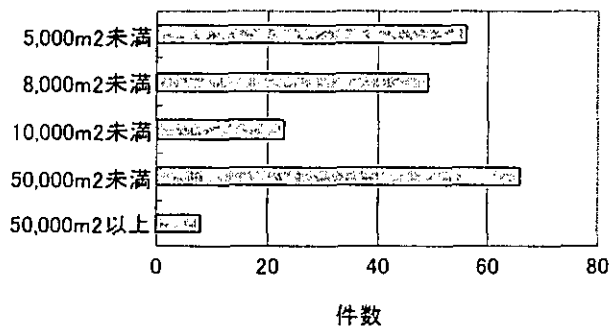
### ②延べ床面積

延べ床面積については10,000~50,000m<sup>2</sup>未満が66件(32.7%)と最も多く、次いで5,000m<sup>2</sup>未満が56件(27.7%)、5,000~8,000m<sup>2</sup>未満が49件(24.3%)、8,000~10,000m<sup>2</sup>未満が23件(11.4%)、50,000m<sup>2</sup>以上が8件(4.0%)であった(表8、図3)。(不明:23件)

表8 延べ床面積について

延べ面積	件数	(%)
5,000m <sup>2</sup> 未満	56	27.7
8,000m <sup>2</sup> 未満	49	24.3
10,000m <sup>2</sup> 未満	23	11.4
50,000m <sup>2</sup> 未満	66	32.7
50,000m <sup>2</sup> 以上	8	4.0
不明	23	

図3 延べ床面積



### ③在館人員

在館人員に関する調査では、回答数が6件のみであったため集計を省略した。

### ④特定建築物の用途

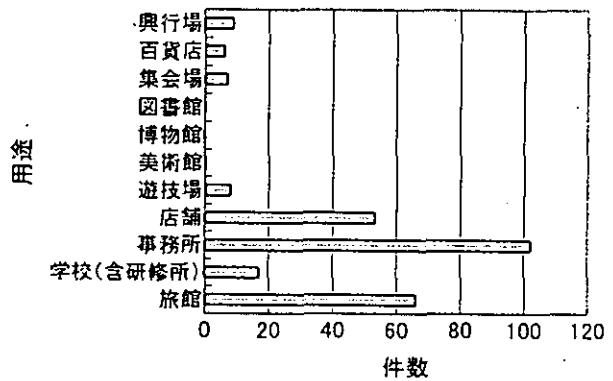
特定建築物の用途については主たる用途以外にも該当するものを選択する回答方式とした結果、事務所が102件と最も多く、次いで旅館66件、店舗53件の順に多かった。3用途以外では、学校教育法第1条に規定する学校以外の学校(研修所を含む)17件、興行場9件、遊技場8件、集会場7件、百貨店6件であった。なお、図書館、博物館、美術館で防錆剤使用施設は確認されなかった(表9、図4)。(不明:8件)



表9 特定建築物の用途

用途	件数
興行場	9
百貨店	6
集会場	7
図書館	0
博物館	0
美術館	0
遊技場	8
店舗	53
事務所	102
学校教育法第1条に規定する以外の学校(研修所)	17
旅館	66
不明	8

図4 特定建築物の用途



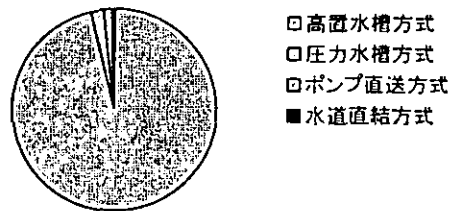
⑤給水方式

給水方式については高置水槽方式が197件(96.1%)と圧倒的に多く、以下圧力水槽方式4件(2.0%)、ポンプ直送方式3件(1.4%)、水道直結方式1件(0.5%)であった(表10、図5)。(不明:20件)

表10 給水方式

給水方式	件数	(%)
高置水槽方式	197	96.1
圧力水槽方式	4	2.0
ポンプ直送方式	3	1.4
水道直結方式	1	0.5
不明	20	

図5 給水方式



2) 届出項目

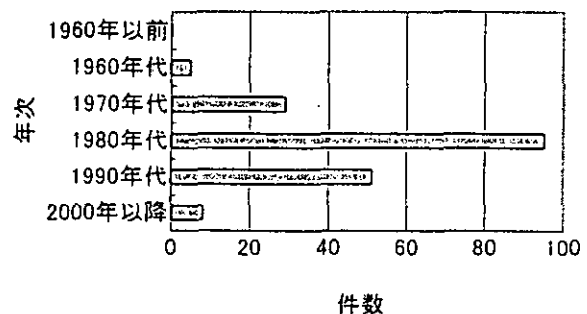
①使用開始年月日

防錆剤の使用開始時期については1980年代が95件(50.5%)と最も多く、次いで1990年代が51件(27.1%)、1970年代が29件(15.4%)、2000年以降が8件(4.3%)、1960年代が5件(2.7%)であった。なお1960年以前に防錆剤を使用開始した施設はなかった(表11、図6)。(不明:37件)

表11 防錆剤の使用開始年について

年代	件数	(%)
1960年以前	0	0.0
1960年代	5	2.7
1970年代	29	15.4
1980年代	95	50.5
1990年代	51	27.1
2000年以降	8	4.3
不明	37	

図6 防錆剤の使用開始年



### ②防錆剤管理責任者の選任と有する資格について

防錆剤管理責任者の選任状況については選任している施設が199件(98.5%)、選任していない施設は3件(1.5%)であった(表12, 図7)。(不明:23件)

また、防錆剤管理責任者が有する資格については建築物環境衛生管理技術者が179件(89.9%)と圧倒的に多く、次いで防錆剤管理責任者が6件(3.0%)であった。また給水用防錆剤販売管理者に委託する例も1件(0.5%)みられた。

なお、防錆剤の取り扱いについては防錆剤管理責任者の講習を修了した者か建築物環境衛生管理技術者とされているにもかかわらず、高圧電気技師や未資格者を選任している例が3件あった(表13, 図8)。(不明:36件)

表12 防錆剤の使用開始年について

	件数	(%)
選任している	199	98.5
選任していない	3	1.5
不明	23	

図7 防錆剤管理責任者の選任

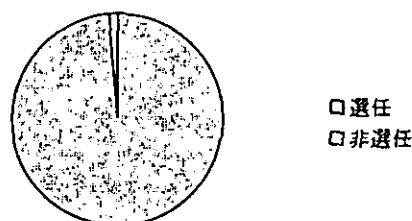
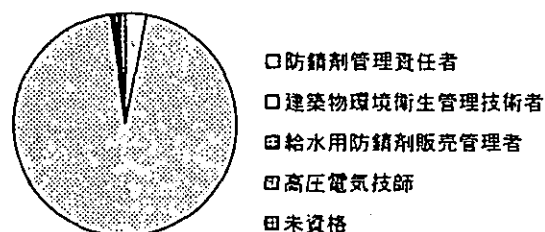


表13 防錆剤の使用開始年について

	件数	(%)
防錆剤管理責任者	6	3.2
建築物環境衛生管理技術者	179	94.7
給水用防錆剤販売管理者	1	0.5
高圧電気技師	1	0.5
未資格	2	1.1
不明	36	

図8 防錆剤管理責任者が所有する資格



### ③使用防錆剤の種類及び使用濃度

使用防錆剤の種類についてはリン酸塩系189件(91.7%)に対しケイ酸塩系14件(6.8%)、混合塩系3件(1.5%)であった。(不明:19件)

形態も含めた詳細では、リン酸塩系固体(1種1号)が89件(43.2%)、リン酸塩系液体(1種2号)が95件(46.1%)、リン酸系不明が5件(2.4%)、ケイ酸塩系固体(2種1号)が3件(1.5%)、ケイ酸塩系液体が10件(4.9%)、ケイ酸系不明が1件(0.5%)、混合塩系固体(3種1号)が1件(0.5%)、混合塩系液体(3種2号)が2件(1.0%)であった(表14, 図9, 10)。(不明:19件)

表 14 使用防錆剤の種類について

	固体 (1号)	液体 (2号)	不明	合計 (%)
リン酸塩系 (1種)	89	95	5	189 91.7
ケイ酸塩系 (2種)	3	10	1	14 6.8
混合塩系 (3種)	1	2	0	3 1.5
合計 (%)	93 46.5	107 53.5	6	206 100.0

図9 使用防錆剤の種類

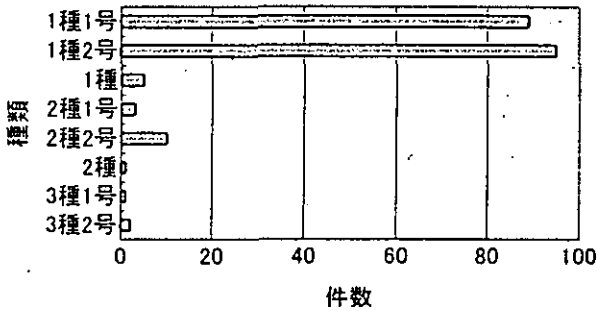
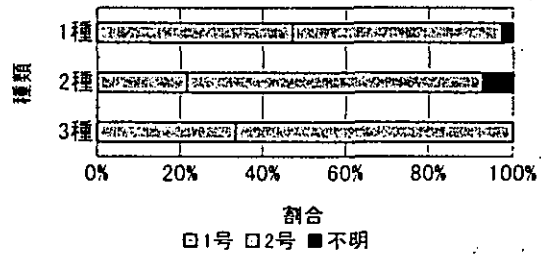


図10 使用防錆剤の種類ごとの形態の割合



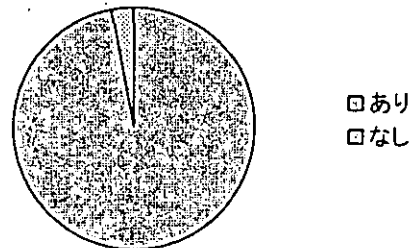
④帳簿書類の作成について

防錆剤使用に伴う帳簿書類の整理については管理要領の届出事項として規定されていないものの19の行政で帳簿書類の作成に関する確認が実施されており、19行政所管の防錆剤使用届出特定建築物148件のうち124件(83.8%)で帳簿書類を作成して管理を行っていた(表15, 図11)。(不明:21件)

表 15 帳簿書類の作成について

	件数	(%)
作成している	124	96.9
作成していない	4	3.1
不明	21	

図11 帳簿書類



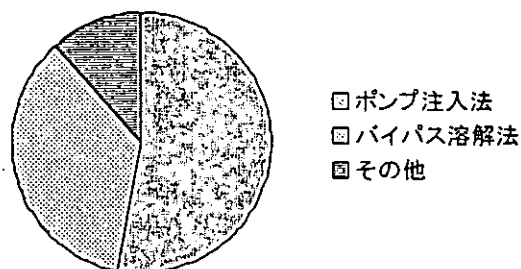
### ⑤防錆剤の注入方法

防錆剤の注入方法についても帳簿書類と同様、管理要領の届出事項に規定されていないものの21の行政で防錆剤の注入方法を確認していた。21行政所管の防錆剤使用届出特定建築物102件のうちポンプによる注入法は54件(58.7%)、バイパス溶解法は26件(28.3%)、その他の方法が12件(13.0%)であった(表16, 図12)。(不明:10件)

表16 防錆剤の注入方法について

	件数	(%)
ポンプによる注入法	54	58.7
バイパス溶解法	26	28.3
その他	12	13.0
不明	10	

図12 防錆剤の注入方法



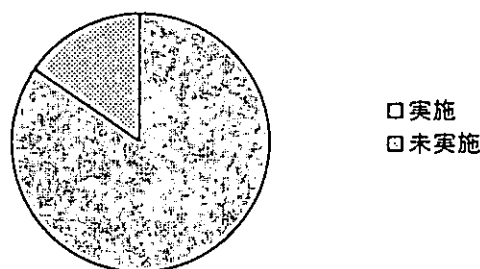
### ⑥防錆剤濃度検査の実施及び頻度

防錆剤濃度検査については、給水栓における水に含まれる防錆剤の含有率が基準に適合しているかどうか判断するため、定常時には2月以内ごとに1回、注入初期には7日以内に1回検査することが管理要領で規定されている。その実施状況については20の行政で確認しており、検査頻度では防錆剤濃度検査の頻度は検査実施施設111件のうち6回/年が76件と最も多く、次いで1~2回/年が4件、3~4回/年と7~8回/年がそれぞれ2件、12回/年が1件であった(表17, 図13)。(不明:10件)

表17 防錆剤濃度検査の実施状況

	件数	(%)
実施	54	58.7
未実施	26	28.3
その他	12	13.0
不明	10	

図13 防錆剤濃度検査実施状況



### 3) 給湯における防錆剤の使用状況

給湯における防錆剤の使用については、使用が12件、未使用が68件、不明が145件であった。しかし、使用データの12件中10件は使用防錆剤の種類および注入濃度、注入方法が飲料水と同様であったことから、飲料水系統より中央式給湯設備に取水し、加熱しているものと考えられる。他の2件については飲料水と給湯水で使用防錆剤が異なるか、または給湯水のみでの使用との回答であった。(不明:145件)

## 2. 2 東京都における給水用防錆剤使用特定建築物詳細調査

2. 1で実施した調査結果を基に、東京都管轄下の給水用防錆剤（以下、防錆剤とする。）の使用の届出のある特定建築物を対象に調査を実施した。

### （1）調査方法

2. 1の調査で東京都より防錆剤使用との回答があった30件を対象としたが、2件については事前に取り壊されていることを把握していたため調査対象は28件とした。方法については、調査票を3月12日に郵送にて配布し、締切を3月23日と設定してFAXまたは電子メールにより回収を試みた。

### （2）調査内容

調査内容は、建築物関連項目として①建築年、②延べ面積、③在館人員（常勤者、利用者）、④建築物の主たる用途、⑤給水方式、⑥受水槽タイプ、⑦受水槽容量、⑧受水槽材質、⑨高置水槽設置位置、⑩高置水槽材質、⑪高置水槽有効容量、⑫飲料水系における使用配管の材質、⑬1日の平均使用水量を、防錆剤関連項目として①防錆剤の使用、②防錆剤の使用開始年、③使用防錆剤の種類、④防錆剤の注入方法、⑤1年間の防錆剤使用量、⑥過去1年間の防錆剤水質検査結果（濃度）、⑦赤水の原因とした（付録-3）。

### （3）調査結果

22件の特定建築物より回答が得られた（回収率：78.6%）。結果一覧を表18に示す。また調査項目ごとに集計を行った。

#### 1) 建築物について

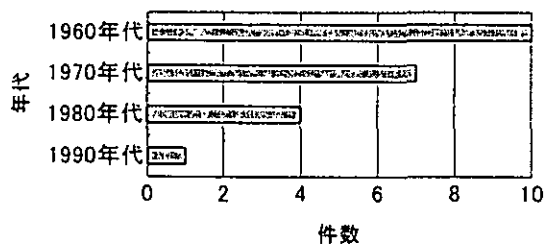
##### ①建築年

1960年代に建設されたものが10件（45.5%）と最も多く、次いで1970年代が7件（31.8%）、1980年代が4件（18.2%）、1990年以降が1件（4.5%）であり、最も古いもので1961年、最も新しいもので1997年であった（表19, 図14）。

表19 建築年について

	件数	(%)
1960年代	10	45.5
1970年代	7	31.8
1980年代	4	18.2
1990年代	1	4.5

図14 建築年



##### ②延べ面積

10,000～20,000m<sup>2</sup>未満が9件（40.9%）と最も多く、次いで20,000～50,000m<sup>2</sup>未満が5件（22.7%）、50,000～100,000m<sup>2</sup>未満が4件（18.2%）、10,000m<sup>2</sup>未満がそれぞれ3件（13.6%）、100,000m<sup>2</sup>以上が1件（4.5%）であり、最大が115,325m<sup>2</sup>、最小が5,219m<sup>2</sup>であった（表20, 図15）。

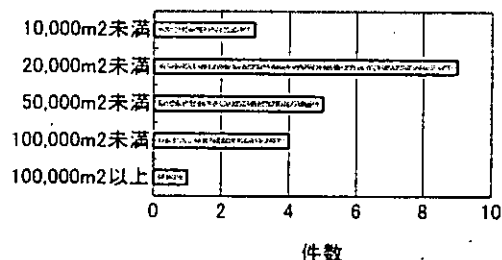
表18 東京都における防錆剤使用施設詳細調査結果

建築物について										防錆剤について													
年	月	建	種	面積 (m <sup>2</sup> )	在館人員 (人)	利用者	用途	給水方式	受水槽			高置水槽			配管材質	使用水量 (m <sup>3</sup> /日)	使用状況	使用開始年	使用開始月	種類	商品名及びメーカー名又は販売店名	投入方法	防錆剤の使用量 (トン年)
									タイプ	有効容量 (m <sup>3</sup> )	材質	設置場所	有効容量 (m <sup>3</sup> )	材質									
1	1962	5		61,734	-	-	旅館、宴会場	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	450.0	コンクリート	屋外	60.0	FRP	樹脂ライニング鋼管	675	使用	1962	5	リン酸塩系 固体		ハイパス	0.86
2	1964	9		55,640	450	-	旅館	高置水槽方式、 圧力タンク方式	非告示型 躯体利用地下型	100.0	FRP	屋内	80.0	FRP	樹脂ライニング鋼管	700	使用	1974	4	リン酸塩系 固体	シリホス ポーゲンファイブ	ハイパス	0.625
3	1964	5		16,236	30	600	事務所、スタジオ、 放送局	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	150.0	コンクリート	屋外	49.4	FRP、 鋼板	水用亜鉛めっき鋼管	80	給湯 のみ	1998	1	ケイ酸塩系 液体	ラインガード 煉化学工業(株)	ポンプ	-
4	1997	12		20,716	-	2,500	集会場	高置水槽方式	-	110.0	FRP	屋外	27.0	FRP	炭素鋼管	200	使用	1994	-	リン酸塩系 液体	ポリアコースCRS 大洋化学工業	ポンプ	0.6
5	1971	4		12,661	390	420	事務所	高置水槽方式	告示型 斬型	70.0	FRP	屋外	18.0	FRP	炭素鋼管、 樹脂ライニング鋼管	45	使用	1975	12	リン酸塩系 液体	アクアセーフ-120 アクアス(株)	ポンプ	0.28
6	1967	11		82,440	-	94,000	百貨店	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	196.6	コンクリート	屋外	45.1	FRP	樹脂ライニング鋼管	1,192	未使用	-	-	-	-	-	-
7	1966	1		12,265	200	230	事務所	高置水槽方式	告示型	60.0	FRP	屋外	18.0	FRP	水用亜鉛めっき鋼管	85	使用	1985	5	-	ユース・クリン#500	ポンプ	0.024
8	1971	10		15,994	220	1,200	遊技場、店舗	高置水槽方式	告示型	47.0	FRP	屋外	18.0	FRP	水用亜鉛めっき鋼管	200	使用	1972	-	リン酸塩系 液体	-	ポンプ	0.182
9	1974	5		23,835	60	10,000	遊技場	高置水槽方式、 圧力タンク方式	非告示型 躯体利用地下型	99.0	コンクリート	屋外	30.0	FRP	水用亜鉛めっき鋼管	318	使用	1975	5	リン酸塩系 固体	シリホスNEW 煉化学工業(株)	ハイパス	0.225
10	1984	9		115,325	2,500	5,000	店舗、事務所、旅館	高置水槽方式、 ポンプ直送方式	告示型 斬型	500.0	コンクリート	屋内	36.0	FRP	ステンレス鋼管	500	使用	1984	9	リン酸塩系 液体	エバークリン 陽森工業(株)	ポンプ	0.8
11	1962	9		43,586	270	2,500	旅館	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	176.0	コンクリート	屋外	30.0	FRP	水用亜鉛めっき鋼管	500	使用	1965	-	リン酸塩系 液体	エバクリン 陽森工業(株)	ポンプ	7.2
12	1961	10		66,635	600	3,500	旅館	高置水槽方式	告示型 斬型	90.0	FRP	屋外	38.0	FRP	炭素鋼管	373	使用	-	-	リン酸塩系 固体	サンピュア20 三菱化工	ハイパス	1.7
13	1972	2		49,000	300	600	旅館	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	1,000.0	コンクリート	屋内、 屋外	86.0	FRP	水用亜鉛めっき鋼管、 樹脂ライニング鋼管	450	使用	1972	2	リン酸塩系 固体	エバスター 在原インフィルコ	ポンプ	0.239
14	1972	11		13,826	368	7,000	店舗、事務所	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	128.4	コンクリート	屋外	19.7	FRP	-	60	使用	1985	6	リン酸塩系 液体	ISP-W 市田化学(株)	ポンプ	0.12
15	1965	4		12,221	400	700	店舗、事務所、 学校教育法以外の学校	高置水槽方式、 圧力タンク方式	告示型 斬型	12.0	FRP	屋内	9.0	-	水用亜鉛めっき鋼管、 樹脂ライニング鋼管	43	使用	1978	3	ケイ酸塩系 液体	クリアーフレッシュ	ポンプ	0.18
16	1980	5		5,219	270	280	事務所	ポンプ直送方式	告示型 旧型	2.4	FRP	-	-	-	水用亜鉛めっき鋼管、 樹脂ライニング鋼管、 ステンレス鋼管	14	使用	1994	5	リン酸塩系 液体	-	ポンプ	0.188
17	1980	3		6,407	24	268	旅館	高置水槽方式	-	65.6	FRP	屋外	12.0	FRP	-	62	未使用	-	-	-	-	-	-
18	1983	8		25,962	430	880	事務所、旅館	高置水槽方式	告示型	130.0	鋼板	屋外	30.0	FRP	樹脂ライニング鋼管	150	使用	1993	10	リン酸塩系 固体	シリホス-1 エンビック	ハイパス	0.04
19	1975	1		16,346	1,000	1,000	事務所	高置水槽方式	告示型	48.0	FRP	屋外	10.0	FRP	樹脂ライニング鋼管	45	使用	1975	1	リン酸塩系 固体	エースクリン#500 日本エース工業	ポンプ	0.052
20	1964	4		10,000	500	100	事務所	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	90.0	コンクリート	屋内	12.0	FRP	炭素鋼管	50	使用	1975	9	リン酸塩系 固体	カラット#1 タイホー工業	ハイパス	0.2
21	1965	6		14,009	300	100	事務所	高置水槽方式	非告示型 躯体利用地下型	88.5	コンクリート	屋外	7.0	FRP	水用亜鉛めっき鋼管	29	使用	2002	9	リン酸塩系 固体	シリホス ポーゲンファイブ	ハイパス	0.019
22	1973	8		5,813	5	55,000	遊技場	圧力タンク方式	告示型 斬型	20.0	FRP	-	-	-	水用亜鉛めっき鋼管	36	使用	1986	4	リン酸塩系 固体	-	ハイパス	0.15

表 20 延べ床面積

	件数	(%)
10,000m <sup>2</sup> 未満	3	13.6
10,000～20,000 m <sup>2</sup> 未満	9	40.9
20,000～50,000 m <sup>2</sup> 未満	5	22.7
50,000～100,000 m <sup>2</sup> 未満	4	18.2
100,000m <sup>2</sup> 以上	1	4.5

図 15 延べ面積



③1日の在館人員

常勤者は200～400人未満が8件と最も多く、次いで200人未満と400～600人未満が4件、1,000人以上が2件、600～1,000人未満が1件であり、最大が2,500人、最小が24人であった。(不明:3件)

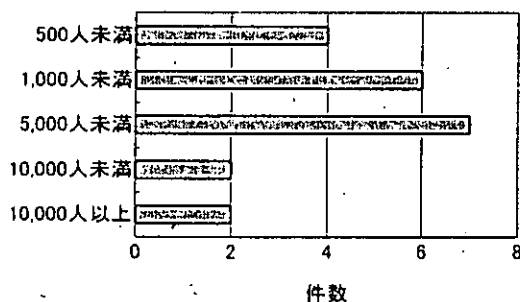
利用者は1,000人以上が10件と最も多く、次いで600～1,000人未満が4件、200～400人未満が3件、200人未満が2件であり、最大が94,000人、最小が100人であった。(不明:2件)

常勤者数と利用者数を合わせた1日あたりの在館総人数は、1,000～5,000人未満が7件(33.3%)と最も多く、次いで500～1,000人未満が6件(28.6%)、500人未満が4件(19.0%)、5,000～10,000人未満と10,000人以上がそれぞれ2件(9.5%)であった(表21, 図16)。(不明:1件)

表 21 在館総人数

	件数	(%)
500人未満	4	19.0
1,000人未満	6	28.6
5,000人未満	7	33.3
10,000人未満	2	9.5
10,000人以上	2	9.5

図 16 在館総人数



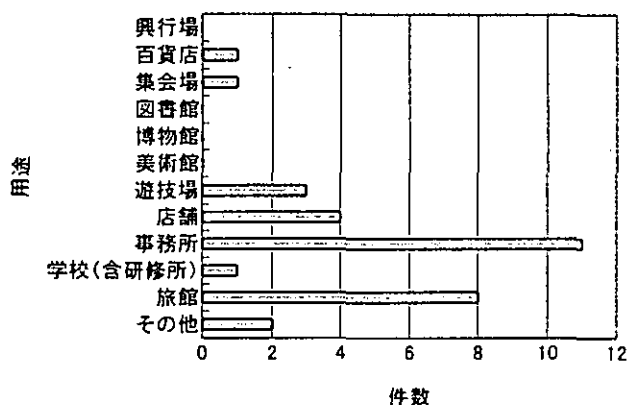
#### ④建築物の用途

事務所との回答が11件と最も多く、次いで旅館が8件、店舗が4件、遊技場が3件、集会場と学校教育法第1条に規定する以外の学校がそれぞれ1件ずつあった。また、宴会場やスタジオ、放送局といった回答もあった(表22, 図17)。

表22 建築物の用途

用途	件数
興行場	0
百貨店	1
集会場	1
図書館	0
博物館	0
美術館	0
遊技場	3
店舗	4
事務所	11
学校教育法第1条に規定する 以外の学校(研修所合)	1
旅館	8
その他	2

図17 建築物の用途



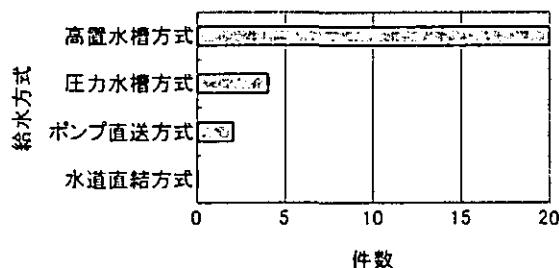
#### ⑤給水方式

高置水槽方式が20件と圧倒的に多く、次いで圧力タンク方式が4件、ポンプ直送方式が2件であった。また、複数の給水方式を併用している建築物が4件あり、高置水槽方式と圧力タンク方式の組み合わせが3件、高置水槽方式とポンプ直送方式の組み合わせが1件であった(表23, 図18)。

表23 給水方式

給水方式	件数
高置水槽方式	20
圧力タンク方式	4
ポンプ直送方式	2
増圧直結給水方式	0

図18 給水方式



#### ⑥受水槽のタイプ

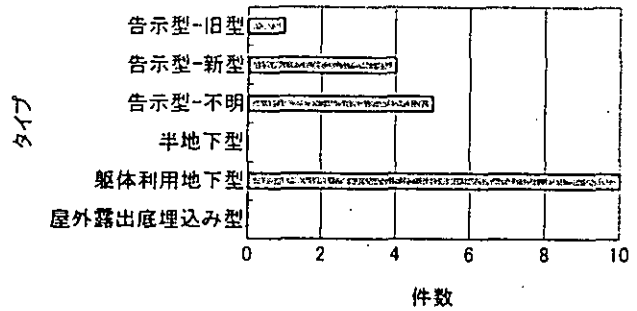
受水槽のタイプは告示型、非告示型ともに10件ずつであった。詳細は、非告示型-躯体利用地下型が10件(50.0%)と最も多く、次いで告示型-新型が4件(20.0%)、告示型-旧型が1件(5.0%)であった。なお、告示型ではあるが詳細が不明なものが5件(25.0%)であった(表24, 図19)。(不明:1件)



表 24 受水槽のタイプ

受水槽のタイプ		件数
告示型 (床置型)	旧型	1
	新型	4
	不明	5
非告示型 (地下型)	半地下型	0
	躯体利用地下型	10
	屋外露出底埋込み型	0

図19 受水槽のタイプ



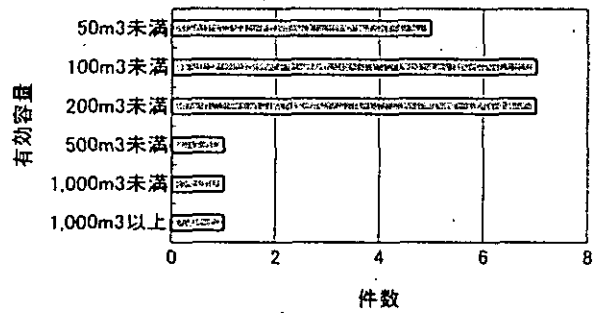
⑦受水槽の有効容量

50~100m<sup>3</sup>未満と100~200m<sup>3</sup>未満がそれぞれ7件(31.8%)と最も多く、次いで50.0m<sup>3</sup>未満が5件(22.7%)、200~500m<sup>3</sup>未満が2件(9.1%)、1,000m<sup>3</sup>以上が1件(4.5%)であり、最大が1,000m<sup>3</sup>、最小が2.4m<sup>3</sup>であった(表25, 図20)。

表 25 受水槽の有効容量

受水槽有効容量	件数	(%)
50m <sup>3</sup> 未満	5	22.7
50~100m <sup>3</sup> 未満	7	31.8
100~200m <sup>3</sup> 未満	7	31.8
200~500m <sup>3</sup> 未満	2	9.1
500~1,000m <sup>3</sup> 未満	1	4.5
1,000m <sup>3</sup> 以上	1	4.5

図20 受水槽の有効容量



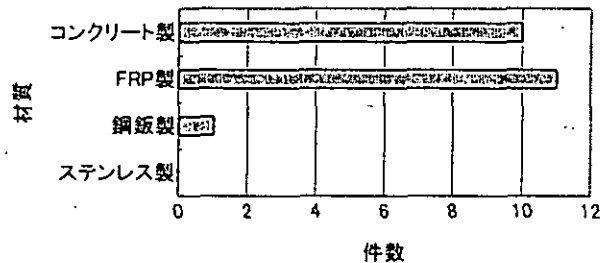
⑧受水槽の材質

受水槽の材質はFRP製が11件(50.0%)と最も多く、次いでコンクリート製が10件(45.5%)、鋼鉄製が1件(4.5%)であった(表26, 図21)。

表 26 受水槽の材質

材質	件数	(%)
コンクリート製	10	45.5
FRP製	11	50.0
鋼鉄製	1	4.5
ステンレス製	0	0.0

図21 受水槽の材質



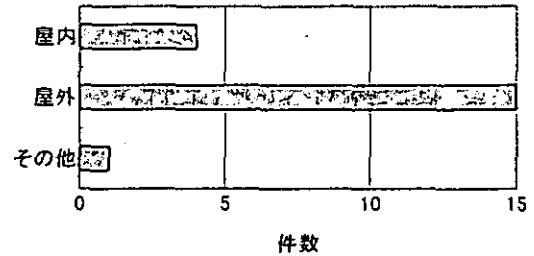
⑨高置水槽の設置場所

高置水槽の設置場所は屋外が15件(75.0%)に対し、屋内は4件(20.0%)、屋内・屋外の両方に設置が1件(5.0%)であった(表27, 図22)。

表27 高置水槽の設置場所

設置場所	件数	(%)
屋内	4	20.0
屋外	15	75.0
その他	1	5.0

図22 高置水槽の設置場所



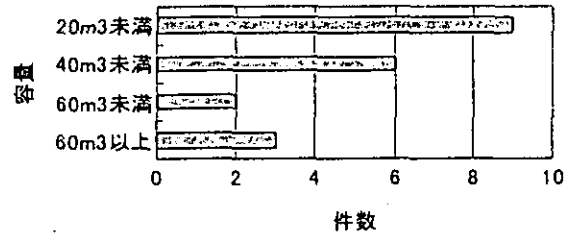
⑩高置水槽の有効容量

高置水槽の有効容量は20m<sup>3</sup>未満が9件(45.0%)と最も多く、次いで20~40m<sup>3</sup>が6件(30.0%)、60m<sup>3</sup>以上が3件(15.0%)、40.0~60m<sup>3</sup>未満が2件(10.0%)であり、最大が86.0m<sup>3</sup>、最小が7.0m<sup>3</sup>であった(表28, 図23)。

表28 高置水槽の有効容量

有効容量	件数	(%)
20m <sup>3</sup> 未満	9	45.0
20~40m <sup>3</sup> 未満	6	30.0
40~60m <sup>3</sup> 未満	2	10.0
60m <sup>3</sup> 以上	3	15.0

図23 高置水槽の有効容量



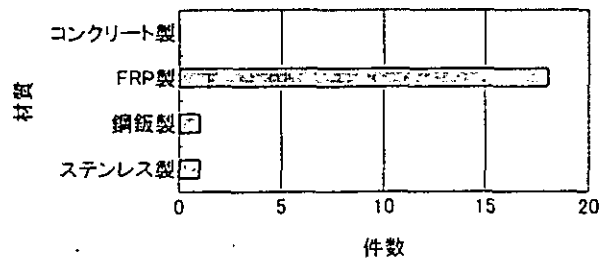
⑪高置水槽の材質

高置水槽の材質はFRP製が18件(90.0%)と圧倒的に多く、FRP製と鋼板製の併用が1件(5.0%)あった(表29, 図24)。(不明:1件)

表29 高置水槽の材質

材質	件数	(%)
コンクリート製	0	0.0
FRP製	18	90.0
鋼板製	1	5.0
ステンレス製	1	5.0

図24 高置水槽の材質



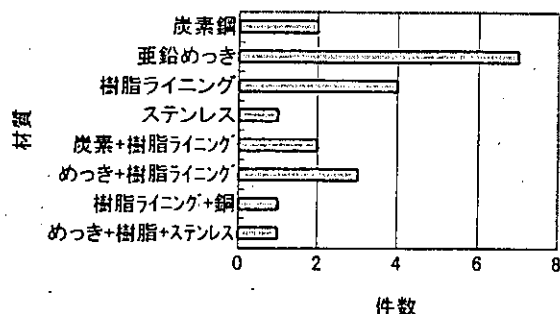
## ⑫配管材質

配管の材質は水用亜鉛めっき鋼管が7件(35.0%)と最も多く、次いで樹脂ライニング鋼管が4件(20.0%)、炭素鋼鋼管(黒ガス管)が2件(10.0%)、ステンレス鋼管が1件(5.0%)であった。材質の異なる配管の併用も6件あり、その他の材質として銅管の使用がみられた(表30, 図25)。(不明:2件)

表30 配管の材質

材質	件数	(%)
炭素鋼鋼管	2	10.0
水用亜鉛めっき鋼管	7	35.0
樹脂ライニング鋼管	4	20.0
ステンレス鋼管	1	5.0
炭素鋼+樹脂ライニング	2	10.0
亜鉛めっき+樹脂ライニング	3	15.0
樹脂ライニング+銅管	1	5.0
めっき+樹脂ライニング+ステンレス	1	5.0

図30 配管の材質



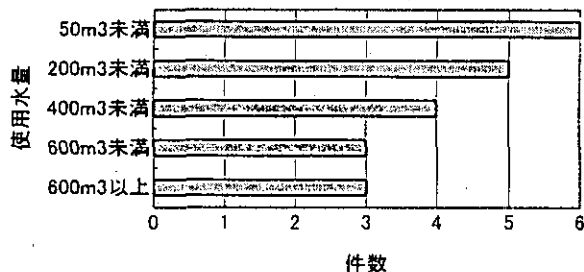
## ⑬1日の使用水量

50 m<sup>3</sup>未満が6件(27.3%)と最も多く、次いで50~200m<sup>3</sup>未満が5件(22.7%)、200~400m<sup>3</sup>未満が4件(18.2%)、400~600m<sup>3</sup>未満と600m<sup>3</sup>以上が3件(13.6%)あり、最大が1,192m<sup>3</sup>、最小が14m<sup>3</sup>であった(表31, 図26)。

表31 1日の使用水量

使用水量	件数	(%)
50m <sup>3</sup> 未満	6	27.3
50~200m <sup>3</sup> 未満	5	22.7
200~400m <sup>3</sup> 未満	4	18.2
400~600m <sup>3</sup> 未満	3	13.6
600m <sup>3</sup> 以上	3	13.6

図26 1日の使用水量



## 2) 防錆剤の使用について

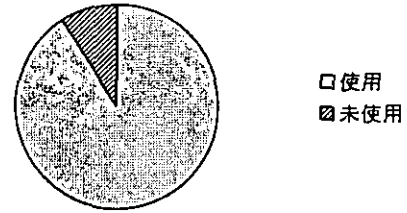
### ①防錆剤の使用

防錆剤を使用している特定建築物が調査対象であるが、防錆剤の使用状況について調査を実施した。その結果、防錆剤を使用している建築物は20件(90.9%)、使用していない建築物は2件(9.1%)あった。防錆剤使用建築物のうち1件は給湯設備のみで防錆剤を使用しているとの回答であった(表32, 図27)。

図27 防錆剤の使用状況

表 32 防錆剤の使用状況

防錆剤の使用	件数	(%)
使用している	20	90.9
使用していない	2	9.1



以下、防錆剤を使用している 20 件の建築物を対象に調査結果をまとめた。

②防錆剤の使用開始年

防錆剤の使用開始年については 1970 年代に使用開始した施設が 8 件 (42.1%) と最も多く、次いで 1990 年代以降が 5 件 (26.3%)、1980 年代が 4 件 (21.1%)、1960 年代が 2 件 (10.5%) であった (表 33, 図 28)。(不明:1 件)

建築されてから防錆剤を使用開始するまでの期間については、10~20 年程度が 8 件 (44.4%) と最も多く、次いで建築直後 (0 年) が 4 件 (22.2%)、建築後 1 年未満と 1~5 年、20 年以上経過してからの使用がそれぞれ 2 件ずつ (11.1%) あった (表 34, 図 29)。(不明:1 件)

表 33 防錆剤の使用開始

年代	件数	(%)
1960 年代	2	10.5
1970 年代	8	42.1
1980 年代	4	21.1
1990 年以降	5	26.3

図28 防錆剤の使用開始

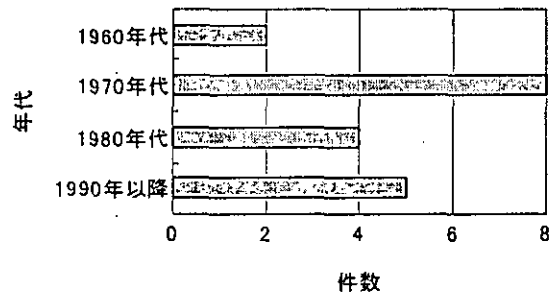


表 34 建築から防錆剤使用までの期間

経過年	件数	(%)
建築直後	4	22.2
1 年未満	2	11.1
1~5 年程度	2	11.1
10~20 年程度	8	44.4
20 年以上経過	2	11.1

図29 防錆剤使用までの期間

